

身近な生きものたち

野鳥の印：●…冬鳥 ●…夏鳥 ●●…旅鳥（春・秋） 無印…留鳥

 ツミ	 チョウゲンボウ	 モズ	 シメ ●	 キビタキ ●●	 ジョウビタキ ●	 シジュウカラ
 メジロ	 ホオジロ	 オナガ	 ヒバリ	 ツグミ ●	 オオヨシキリ ●	 カワラヒワ
 ハクセキレイ	 カワセミ	 イソシギ	 ユリカモメ ●	 キアシシギ ●●	 チュウシャクシギ ●●	 コゲラ
 アオサギ	 ダイサギ	 コサギ	 アマサギ ●	 ゴイサギ	 オオバン ●	 バン
 マガモ ●	 カルガモ	 ヒドリガモ ●	 コガモ ●	 ハシビロガモ ●	 オナガガモ ●	 キンクロハジロ ●
 シオカラトンボ♂	 シオカラトンボ♀	 コシアキトンボ	 ウスバキトンボ	 アキアカネ	 ノシメトンボ	 ギンヤンマ

 ナミアゲハ	 キアゲハ	 アオスジアゲハ	 クロアゲハ	 コミスジ	 ツマグロヒョウモン♂	 ヒメアカタテハ
 モンキチョウ	 キタキチョウ	 ヤマトシジミ	 イチモンジセセリ	 ウラナミシジミ	 ベニシジミ	 ニイニイゼミ
 アブラゼミ	 ミンミンゼミ	 ツクツクボウシ	 カブトムシ	 カナブン	 ゴマダラカミキリ	 オオカマキリ
 ハラビロカマキリ	 カント	 トノサマバッタ	 ショウリョウバッタ	 オンバッタ	 エンマコオロギ	 クマバチ
 フタモンアシナガバチ	 ホントタヌキ	 アズマモグラ	 ニホンヤモリ	 ニホンカナヘビ	 アオダイショウ	 トウキョウダルマガエル
 ニホンアマガエル	 ギンブナ	 モツゴ	 テナガエビ	 スジエビ	 クロベンケイガニ	 ドブガイ



ツミ

そうかの
自然
マップ

未来の子供たちに
残したい自然

草加環境推進協議会



キタミソウ

 カントウタンポポ ●	 ホトケノザ ●	 ツボスミレ ●	 タネツケバナ ●
 ナズナ ●	 トキワハゼ ●	 トウダイグサ ●	 ヘビイチゴ ●
 チガヤ ●	 ノゲシ ●●	 ネジバナ ●	 ツユクサ ●
 カラスウリ ●	 ヒルガオ ●	 セリ ●	 タカサブロウ ●
 カタバミ ●	 ツルボ ●	 クズ ●	 イヌタデ ●●
 ミゾソバ ●●	 イボクサ ●●	 カントウヨメナ ●	 オギ ●

植物の印（花期）：●…春 ●…夏 ●…秋

たいせつな「生物多様性」

「生物多様性」とは、生きものや生態系の豊かさを表す言葉です。それぞれの土地で進化してきた一つひとつ「個性」をもった多様な生きものが、食べる食べられるという「食物連鎖」の関係や共生関係でつながり支えあって生きている状態をいいます。生物多様性は人類にかけがえのない恩恵をもたらしていますが、地球上には、未知の種も含めると3000万種とも推定される生きものが、現在1年間で4万種絶滅していると言われています。生物多様性の損失は、地球温暖化問題にならぶ重要な環境問題といえます。

私たちの住む「そうか」でも、水辺や湿地、屋敷林や庭先、緑地などで多様な生きものたちが暮らしています。多くの市民の皆さんに身近な生きものたちとその暮らす場所について知っていただくとともに、かけがえのない「そうかの自然」を守り、そして次世代の子供たちに残すため、このマップを作成しました。

謝辞

本マップは、草加環境推進協議会10周年記念として、草加松原ロータリークラブ（ロータリー財団）の寄付を受け作成したものです。作成に当たり、（公財）埼玉県生態系保護協会からは、原図の提供のほか多大なご協力をいただきました。また、生きものの写真については多くの皆さんからご提供をいただきました。ご協力くださった皆さんに深く感謝申し上げます。

そうかの自然マップ作成協力者（敬称略）：石井実、加納正行、草野美津枝、小林春記、菅藤男、近岡勝夫、彦坂正治、村木浩一、そうか生きもの調査運営委員会

編集・発行：草加環境推進協議会
発行日：平成29年12月20日
草加市高砂一丁目1番1号 草加市環境課内